

受付番号

(事務局記入)

## とちぎゆめ基金事業助成報告書

(E-mail で [tvnet1995@ybb.ne.jp](mailto:tvnet1995@ybb.ne.jp))

記入日 2016年 10月 7日

団体名(フリガナ) 認定NPO法人 サバイバルネット・ライフ	
団体のURL (あれば) info@survivalnetlife.org	
団体の連絡先 ●電話：0285-24-5192 ●FAX：0285-24-5192	
団体住所：〒323-0827 栃木県小山市神鳥谷 931-3 小山市役所神鳥谷庁舎2階	
報告者氏名(フリガナ)と役職	板場美帆 ( イタバミホ )
助成年度	平成26年度 大きなゆめ助成 ・ <u>小さなゆめ助成</u> (○をつけてください)
ゆめ基金へのメッセージ	日常生活環境がきびしく、さまざまな経験や体験がとほしい要支援児童の子どもたちにあたたかい手をさしのべていただきました。春休みのひととき、家庭を離れ有意義な時間を過ごすことができましたと思います。一つ一つが貴重な体験であり、一人一人が大切な存在です。心から感謝申し上げます。これからも末永く続けていただきたいと思います。
活動の様子の写真を添付してください。(1~2枚)	主な助成金の使途 県立広島大学人間福祉学科準教授 松宮透高氏研修会講師謝金及び交通費、スクールソーシャルワーカー入海英里子氏研修会講師謝金及び交通費。社会福祉士栗本孝雄氏指導者謝金、サバイバルネット・ライフ代表仲村久代氏指導者謝金。
	助成金が団体に与えた影響があれば… NPO法人は資金繰りに余裕がありません。ゆめ基金のような助成がなければ、日々の支援以外の活動をするのは困難です。保護者や家庭環境に問題があり、健全な養育が後回しの子どもたちは、ちょっとした外出や体験をととても喜びます。また、長期休暇の閉じた家庭内は子どもにとっても大人にとっても辛い時間になります。外の世界の信頼できる大人に大切にされることが、子どもたちの将来にとっても大きな力となるに違いありません。当日は社会人や学生ボランティアの学習支援等を通じて、遊んでもらったり甘えたりと充実した時間を過ごせました。 圧倒的に経験値の少ない子どもたちに、貴重な経験をさせていただき心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

